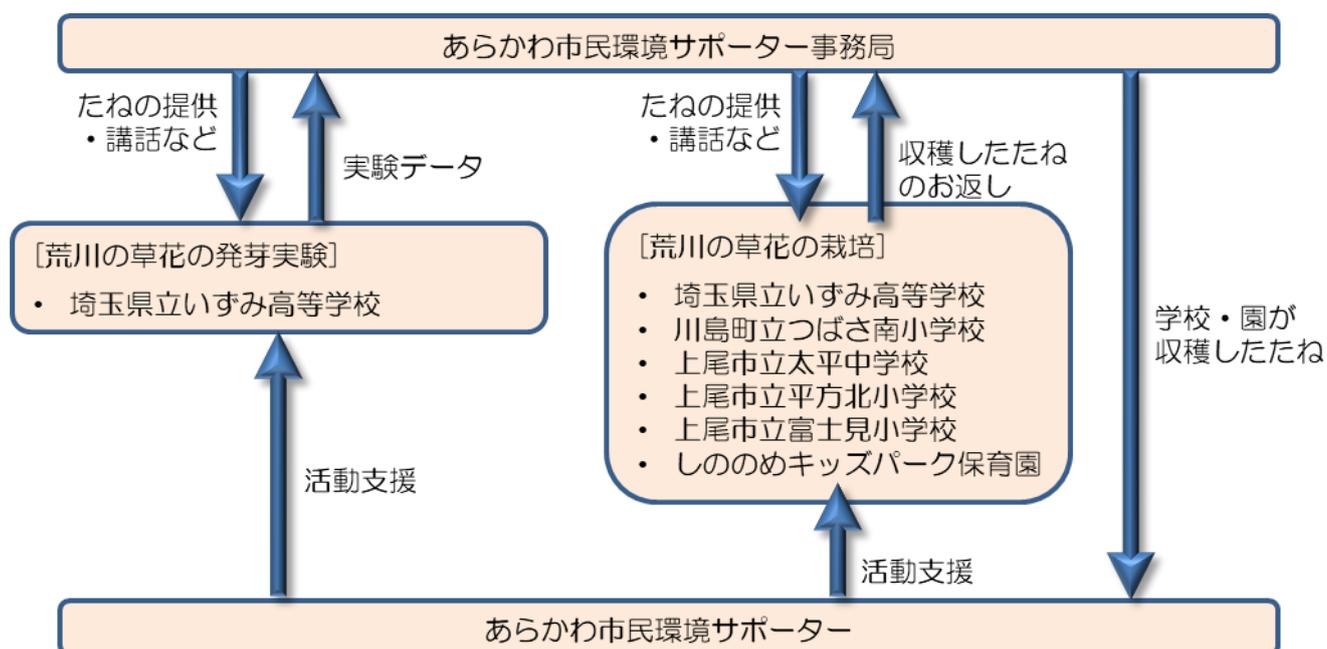


荒川の草花を育てようプロジェクト

「荒川の草花を育てようプロジェクト」とは？

ミツ又沼ビオトープでは、外来植物の繁茂を抑制し、荒川にもともと暮らしていた植物からなる地域色豊かな景観を形成することを目指しています。外来植物の繁茂を抑制するには、ただ除去するだけではなく、除去したあとにできたすきを在来植物が先にふさいでしまうことが有効だと考えられています。

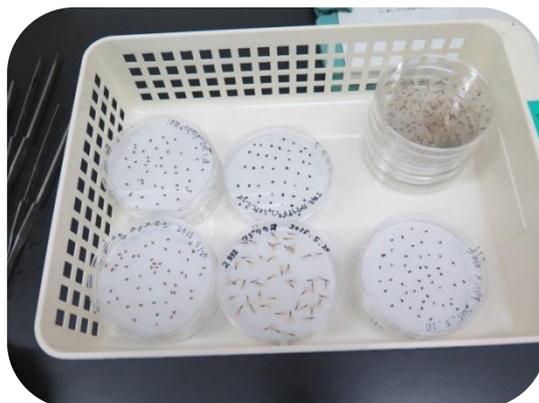
そこで、地域の市民環境団体や学校などと協力して、在来種のたねをたくさん増やす取り組みを始めました。この取り組みが「荒川の草花を育てようプロジェクト」です。



具体的な取り組み内容

○荒川の草花の発芽実験

実は、荒川の草花はどれくらい芽が出るのか（発芽率）、どれくらい育つか（育苗率）などがほとんどわかっていません。そのため、埼玉県立いずみ高等学校と連携して、発芽率などを調べる実験を行っています。



○荒川の草花の栽培

学校内の花壇やプランター、学校ビオトープなどで、荒川の草花をたねから育てます。あらかわ市民環境サポーター事務局が、育てやすい種類のたねを提供します。季節ごとに咲く荒川の草花を楽しんでください。そして、秋にはたねの収穫をお願いします。



「荒川の草花を育てようプロジェクト」に参加するには？

「荒川の草花を育てようプロジェクト」には、総合的な学習の時間や理科の時間、部活動や委員会活動など、それぞれの参加しやすい形でご参加いただけます。必要であれば、たねのまき方や育て方、たねの収穫の仕方などの指導や、環境学習の支援を、あらかわ市民環境サポーター事務局が行います。

現在の参加学校・園の中には、三ツ又沼ビオトープでの自然観察や保全管理活動体験をプロジェクトと組み合わせて行っている学校・園も沢山あります。



お問い合わせ先：

あらかわ市民環境サポーター事務局

(国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所 河川環境課内)

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12

電話：049-220-0145 /FAX：049-247-9850

Eメール：ktr-3biotop@mlit.go.jp